

さくら

vol.1

11月28日発行



医療コラム

おしえて! **ドクター**

そうだったのか! タバコの真実

創刊によせて

地域医療を支える 医師会会員病院紹介

よりそう医療 訪問看護ステーション紹介

さくらネットってな〜んだ?

掲示板

診療機関案内

編集後記

Photo. 望嶽亭の紅葉

冠嶽の秋は鮮やかに彩られた紅葉観賞をしながら散策を楽しむことができます。また、周辺には神社・仏閣のほか奇岩・珍岩があり、最近ではパワースポットとしても知られています。

創刊によせて

野邊 修明

いちき串木野市医師会会長
いちき串木野市医師会立
脳神経外科センター
院長兼任



肌

の涼やかさにやつと秋の深まりを感じさせてくれた本年でした。2

年前から発行されてきた、私どもいちき串木野市医師会立脳神経外科センターの院内機関紙「さくら」に、新たに医師会員サイドからの情報を取り入れて、編集を共にして、謂わばフリーペーパーの企画がここに実現したことに心からの慶びに絶えません。さくらはセンター内の各職種連携を高め、風通しを良くするため情報発信する場の意味合いが濃く、オープン化し難い面がありました。今回の方針転換により、医師会のみならず広く地域社会に情報を提供して共有できるようになりまし

たと思います。とかく疎遠になりがちなセンターと医師会のコミュニケーションの向上に繋がること、加えて地域とのコミュニケーションをも拡がり緊密となり、地域からの理解、協力、連携が期待できるようになり、ひいては地域の医療水準アップへと作用することでしょう。そして、平成25年度から公益法人となった当医師会の地域への医療情報発信の責を果たすツールのひとつになること、これまた今年度から新しく始まった2年半に亘る在宅事業試行に關しての情報も掲載できることになり、会員、住民への啓発、理解、普及の場も設けられることができる有力なる情報源にもなり得ます。

さらには、日本医師会の目指す「国民の健康と生命を守る、国民とともに歩む専門家集団」のコンセプトを、バラエティに富むであろう記事内容から常に認識、理解いただける絶好の機会に恵まれることとなります。一方では心が安らぐオアシスの場ともなりましょう。そのような楽しい軟らかい内容も満載してください。

ひとつの大きな事業といってもいい、大変骨の折れる仕事に取り組んでくれた脳神経外科センターと医師会の関係者に満腔の敬意を表わすものであります。この後に30年振りに刊行される予定の**市医師会報**ともども、興味津々、待ち焦がれ

ています。最初は小さい種子ですが、大きく成長するものと信じています。皆様と一緒にやりましょう。

病院から地域へ 情報発信

下鶴 哲郎

いちき串木野市医師会立
脳神経外科センター
副院長

広報とはPR (Public Relations) の

略で、“社会の共感と理解を得る活動”を意味します。センターは、「地域の脳卒中専門病院」として役目を果たすことに長年精進して参りました。さらに、「地域に必要なとされる病院」として地域医療支援を少しずつお手伝いするにつけ、院外への情報発信し、住民の方に「まず知ってもらおう」ということから始めたいと思い、今回医師会との合同誌を創刊することになりました。

そもそも医療現場側の思いがなかなか相手に届きにくいのが現状です。この地域の医療機関の案内にとどまらず、健康教室の案内や特定の疾患に関する生活上

の気をつけることや、あるいは広報誌を通じてかかりつけ医、行政・福祉の方々の伝えたい情報を発信し、提供していきたいと思えます。

この地区も超高齢化社会を迎え、住み慣れた地域で身近な安心できる医療と介護サービスを受けられるようにならなければなりません。脳卒中になつたらどこでリハビリをおこない自宅復帰をめざしたらいいか、その後の介護サービスはどこに相談したらいいのか、再発の不安があるがいつ受診をしたらいいかなど住民の方の不安は多いと思います。また高齢者は天寿を全うするまでに医療と介護サービスを3〜7回うけるケアサイクル

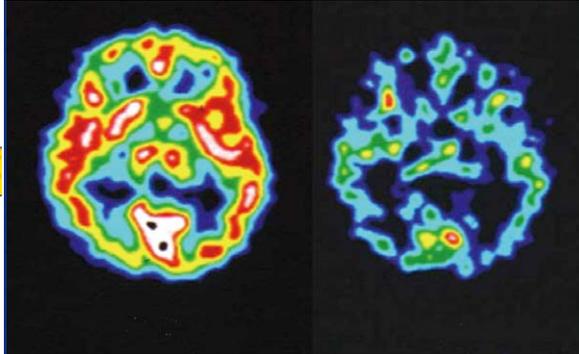
を繰り返されるといわれています。この流れに沿って、切れ目なく医療介護サービスが提供されなくてはいけないのですが、それぞれのサービス体系は複雑化・多様化しております。この複雑化した医療・介護の両方のサービスを熟知し、うまく両者をコーディネートすることが必要です。

今年から行政の方々とともに当医師会とセンターがこの事業を担うことになりました。具体的には、IDリンク事業(この地区の住民のひとりひとりの一生のカルテをつくり、それをこの地区の医療・介護施設で情報共有する)、在宅医療支援事業、医療介護ネットワーク(医師・歯科医・薬局・訪問看護・訪問リハ・

ケアマネージャー・ヘルパーなどが集まり連携を深め切れ目のないサービスを提供)、また糖尿病・脳卒中連携事業(生活習慣病の対策・疾患の重症化を防ぐ・再発を防ぐ)これらについてシリーズでわかりやすく説明していきたいと思えます。

またこの地区になかった訪問看護ステーションも立ち上げましたので、住民のご理解が得られるよう活動していきたいと考えております。

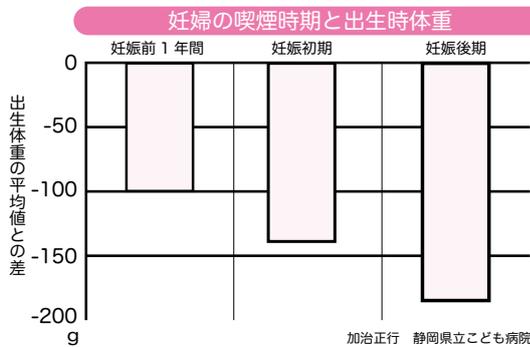
るし、ストレス解消になる、という人がいます。本当でしょうか？喫煙前後に作業効率を判定するテストを行うと、喫煙後に作業効率が明らかに低下し、誤答が多くなることが分かりました。これは脳の画像診断で喫煙後に明らかな脳血流低下が確認された事実からも裏付けられます（図3）。



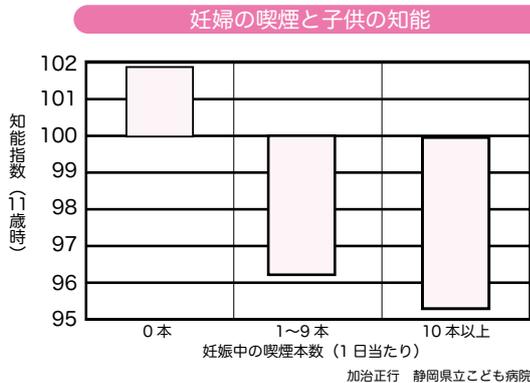
(図3)

妊娠出産に対する影響

妊娠中に喫煙すると胎児に大きな影響を与えます。タバコに含まれるニコチンは血管を強力に収縮させますので胎児に十分な栄養が届かず低体重児が生まれる確率が大きくなります（図4）。また、生まれた子どもの知能にも悪い影響を与えることが報告されています（図5）。



(図4)



(図5)

美容に対する影響

世の中に氾濫する美容法の基本は末梢循環をよくすることです。タバコに含まれるニコチンは強力な血管収縮作用をもっているため、美容の大敵です。一卵性双生児で一方が喫煙者になった時にその差が歴然と表れます（図6）。臭いの問題も大



喫煙者

非喫煙者

(図6)

きく、吸わない人にとっては近くにいるだけで苦痛です。喫煙者本人にしても、歯周炎や口臭、舌がんや喉頭癌など病状によっては審美的に大きく影響するでしょう。タバコを吸いながら美容に励むことのナンセンスが容易に理解できると思います。

そうは言ってもタバコにもいいところがあると喫煙者は主張します。次回は彼らの主張の真偽を検証してみます。

なお、図表は下記サイトより転載しました。

神奈川県内科医学会編

『禁煙医療のための基礎知識』

<http://www.chuwa-p.co.jp/kinen1.htm>

ファイザー株式会社 [すぐ禁煙.jp](http://sugu-kinen.jp)

<http://sugu-kinen.jp/efficacy/index.html>





そうだったのが タバコの真実

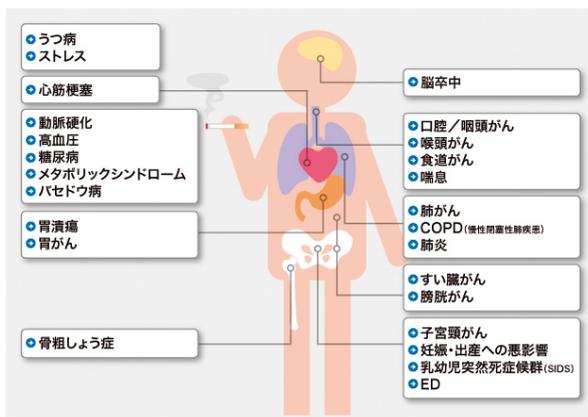
第1回 タバコの害ってどの程度？

開業以来 15 年間、禁煙治療に携わってきましたが、いちき串木野市の喫煙率は未だに 20% を超えています。一方で禁煙に成功した患者さんは「良かった」、「体が軽くなった」、「咳や痰が出なくなった」、「食事がおいしい」など異口同音にその喜びを表現してくれます。この素晴らしい体験をより多くの喫煙者に味わっていただきたく、今回タバコと禁煙にまつわる情報を 4 回シリーズで皆さんと共有したいと思います。

まずはタバコの害。喫煙者であってもタバコに害があることは薄々気が付いています。どの程度の害が明らかになっているのでしょうか。

タバコが悪影響を及ぼす疾患

実は大変深刻で、あらゆる病気に関連しているといえます (図 1)。

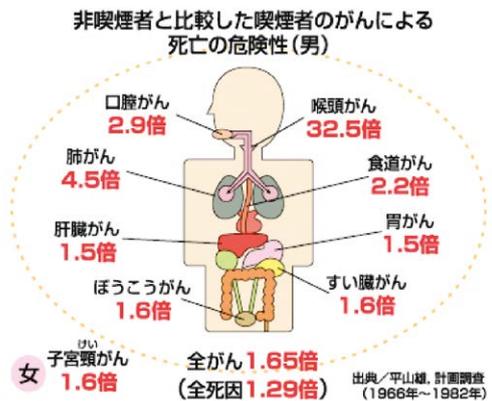


(図 1)

がんは勿論のこと、心循環器疾患、脳卒中、呼吸器疾患、糖尿病、骨粗鬆症、うつ病やストレスなどの精神疾患をはじめ、妊娠出産にも悪影響を

与えます。

がんについては死亡リスクが明らかにされており (図 2)、肺がんは非喫煙者に比べ 4.5 倍となっ



(図 2)

ており、喉頭がんにおいては 32.5 倍の高値となっています。これらの値はがんの死亡リスクであり、発症リスクについてはもっと大きくなっています。

頭スッキリ、ストレス解消？

タバコを吸うと頭がスッキリし、仕事ははかど

地域医療機関との相互連携を一層密に、医療を必要とする患者さんのニーズに応え、適切で切れ目のない医療提供の実現を目指しています。

医療法人慈正会

宮之原循環器内科



◆ 内科・循環器内科

院長名 / 宮之原 浩
 住 所 / いちき串木野市春日町 60 番地
 電 話 / 0996-32-3241
 E-mail / mcc@po4.synapse.ne.jp
 診療時間 / 【月・火・水・金】
 午前 9:00～12:30 (受付 12:00 まで)
 午後 14:00～17:30 (受付 17:00 まで)
 【木・土】
 午前 9:00～12:30 (受付 12:00 まで)
 ※予約優先となりますので、お電話でご相談下さい。
 休 診 日 / 日曜・祝日、木・土午後

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	○	○	×	○	×	×

当院では、かかりつけ医としての一般内科診療に加えて、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患の診断と治療を中心に、その原因となる高血圧症・糖尿病・高脂血症・動脈硬化症などの生活習慣病の診療に力を入れています。特に、当院で行っている心筋シンチグラフィ検査は、現時点での心筋虚血の診断だけでなく、近い将来に心筋梗塞や心不全を発症する可能性の予測に有用とされている検査ですので、心臓に不安をお持ちの方は、お気軽にご相談ください。また当院ではお薬による治療のほか、運動療法を中心とした心臓リハビリテーションも行っています。医師・看護師・理学療法士の管理下で安心してリハビリが受けられますので、一度見学してみてください。

当院は 19 床の有床診療所ですので、外来診療で入院治療が適当と判断される時は入院も可能ですし、高度医療が必要な時には適切な専門医療機関へ紹介を行っています。また通院に不安がある方には訪問診療や訪問看護を行っておりますし、介護が必要な方は併設の老人保健施設「さるびあ苑」でも継続して治療が続けられますので、どうぞお気軽にご相談ください。

和田外科医院



◆ 外科・内科

院長名 / 和 田 力
 住 所 / いちき串木野市別府 3271
 電 話 / 0996-32-4185
 診療時間 / 【月・火・水・木・金】
 午前 9:00～12:30
 午後 14:00～17:30
 【土】
 午前 9:00～12:30
 午後休診
 休 診 日 / 土曜午後・日曜・祝日

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	○	○	○	○	×	×

当院は昭和 53 年 8 月、有床診療所として開院しました。思うところがあって、平成 11 年に病室を閉鎖し、通院患者さんと日常会話に興じています。

地域医療を支える 医師会会員病院紹介

医療法人杏林会 丸田病院



◆ 内科・消化器内科・血液内科

理事長名 / 丸田 修 士

院 長 名 / 下高原 茂 巳

住 所 / いちき串木野市旭町 83

電 話 / 0996-32-2263

診療時間 / 【月・火・水・木・金】
午前 9:00～13:00
午後 14:00～18:00
【土】
午前 9:00～13:00

休 診 日 / 日曜・祭日・土曜午後

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	○	○	○	○	×	×

当院は、市街地の中で静かな所で診療しています。医療、介護に対してなるべく地域密着し、完結を求めています。

医療は、血液内科、消化器内科を中心に生活習慣病に関する人間ドッグも行い、血液内科は、西薩からも紹介があり、鹿児島大学病院からは、非常勤ですが定期的には肝臓内科、消化器内科医が勤務しています。介護に関しては、理学療法士、作業療法士が3名勤務し、維持期リハに努め、さらにリハビリが必要な患者様は、老人保健施設（ライフハーバーいちき）に入所して在宅復帰を目差してもらいます。また介護に疲れた家族の方がいらした時、短期入所を勧めたりします。グループホームは、常時満床で一般の生活を楽しく頂き、介護度で高くなった時には病院又は老健でお世話しています。

病院連携に関しましては、脳血管障害が疑われた時には脳神経外科センターに紹介し、他の病気の時は高度で適切な治療のできる医療機関を紹介しています。

医療法人静和会 みなと病院



◆ 精神科・神経科・心療内科

院 長 名 / 井 上 康

住 所 / いちき串木野市湊町 1 丁目 208 番地

電 話 / 0996-36-2126

診療時間 / 【月・火・水・木・金・土】
午前 9:00～12:00
午後 13:00～17:00

休 診 日 / 日曜・祝日・盆・年末年始・病院行事の特別日

診療案内

受付時間	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	○	○	○	○	○	×
午 後	○	○	○	○	○	○	×

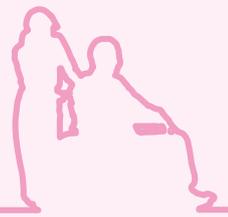
当院は、昭和 35 年に「市来保養院」と称し開業、平成 19 年 12 月に病院の全面改装を果たし、病院名も「みなと病院」へ改称しました。「みなと病院は、患者様の心を癒やし、社会復帰をしていく“みなと”でありたい。」という思いからつけた名称です。

理念「Life&Professional」を掲げていますが、ここでいう“Life”は、「患者様の生命・生活・人生」「Professional」は、「専門職集団としてチームワーク・知識を高め“Life”をよりよいものにする努力を続ける。」といった意味です。大きな理念ですが、「小さなことからコツコツと」積み重ね地域の精神科医療に貢献できるよう努力してまいります。

入院診療：精神科一般病棟 50 床・精神科療養病棟 60 床・認知症治療病棟 40 床。一般的な精神科治療に加え、精神科作業療法など非薬物療法も多く取り入れています。

外来診療：精神科医師の診療、心療内科医師による専門外来。精神科デイケア・精神科訪問看護・医療福祉相談による患者様の地域生活支援体制も整えています。

お気軽にお問い合わせ、ご相談ください。



いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 訪問看護ステーション さくら

平成 25 年 8 月 1 日から、いちき串木野市医師会立脳神経外科センターの敷地内に『訪問看護ステーション さくら』を開設しました。

『訪問看護ステーション さくら』は、利用者様やご家族の心に温もりのある看護を提供することを理念に掲げ、24 時間体制での緊急訪問も対応します。



【訪問看護の内容】

- ①ご家族への介護支援・相談
 - ：ご家族の悩み相談・看護や介護の知識と技術の説明など
- ②健康状態の観察と療養生活のアドバイス
 - ：血圧・体温・呼吸・脈拍などのチェック、体重や腹囲・排尿と排便の状態観察など
- ③病気の治療のための看護
 - ：服薬方法の指導や確認、カテーテル管理、点滴・注射、採血、経管栄養など
- ④チーム医療としての関わり
 - ：医師・ケアマネージャー・事業所・行政との連携
- ⑤療養生活のお世話
 - ：入浴介助、排泄介助、口腔ケア、食事介助、整容介助など
- ⑥利用者様やご家族の精神・心理的な関わり
- ⑦リハビリテーション
 - ：寝たきり予防のためのリハビリ、日常生活動作の訓練など
- ⑧終末期ケア・看取り
 - ：痛みの緩和（マッサージや鎮痛剤の投与）、精神的ケア、看取り（ご臨終前後のケア）



次回は、訪問看護開始までの流れをご説明したいと思います。

訪問看護に関してのご利用やご不明な点がございましたら、いつでもご相談下さい。

【連絡先】

いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 訪問看護ステーション さくら
(脳神経外科センター敷地内 1 階)

住 所：いちき串木野市生福 5391 番地 3

T E L：0996-32-2020 F A X：0996-32-2088

管理者：松園 進矢

つながる地域医療「さくらネット」に参加しませんか！

さくらネットは、この地区の住民ひとりひとりの一生のカルテをつくり、この地区の医療・介護施設で情報共有します。

～さくらネットはインターネットを使った、地域医療連携ネットワークサービスです～



「さくらネット」に参加することで、病院・医院の受診時の状況や治療歴、検査や画像の情報が、他の施設で閲覧できるようになり、治療の経過やその効果などについて、かかりつけ医でわかりやすく説明を受けることができ、転院や在宅療養時も安心です。また、重複した薬の処方や検査を防ぐ等、より安全で質の高い診療をお受けになることができます。

【問い合わせ先】

いちき串木野市医師会立脳神経外科センター 医療情報室 畑中勇二 溝口修平

TEL : 0996-32-9999 FAX : 0996-32-0496

ホームページ : <http://www.kunc99.ne.jp>

(さくらネットの詳細は当センターのホームページでご覧下さい)

みんなの掲示板

脳ドックのご紹介

健康で長生きするために

鹿児島県は脳卒中（脳梗塞・脳出血など）の患者が多い県です。脳卒中は肥満、高血圧、糖尿病、高脂血症などの生活習慣病をお持ちの方は、発症率が高くなると言われています。

この機会に脳ドックをご利用頂き、ご自身の健康管理にお役立てください。脳ドックを受けるには事前の予約が必要です。何かご不明な点がございましたら、お気軽にお尋ねください。

検査項目

頭部 MRI・MRA 検査、頸部エコー検査、採血、心電図、オプションで脳萎縮の程度（VSRAD）

脳ドックでわかるもの

かくれ脳梗塞、脳の血管の閉塞、狭窄、コブ（動脈瘤）、頸部血管の閉塞、狭窄や脳腫瘍の有無が分かります

検査費用

1人 ¥35,000（消費税別途¥1,750）

※保険の種類により下記のように補助があり、自己負担額に違いがあります

- | | | |
|----|--------------|---------|
| 国保 | ●いちき串木野市 | ¥11,750 |
| | ●薩摩川内市 | ¥8,750 |
| 社保 | ●市町村にかかわらず | ¥36,750 |
| | ●鹿児島県市町村職員共済 | ¥24,750 |

検査日

火・水・木曜日の午後からです

予約方法

お電話または直接ご来院ください

いちき串木野市医師会立脳神経外科センター Tel 0996-32-9999 担当：宮崎、万田（医事課）

診療機関のご案内

内 科		外 科		皮膚科・泌尿器科	
医療機関名	電話 (0996)	医療機関名	電話 (0996)	医療機関名	電話 (0996)
市来内科	36-5000	金子病院	33-0011	野辺ひふ科クリニック	33-0250
えんでん内科クリニック	32-7000	春田クリニック	33-2882	藤井クリニック	32-8000
京町内科・脳神経クリニック	32-2855	和田外科医院	32-4185	まきのせ泌尿器科	33-0122
串木野内科・循環器科	33-2211	整形外科		産科・婦人科	
さゆりクリニック	32-0080	医療機関名	電話 (0996)	医療機関名	電話 (0996)
知花内科	32-8151	南洲整形外科病院	32-0051	久米クリニック	32-7663
富宿医院	32-3024	春田整形外科	32-2200	精神科	
新山内科医院	36-2255	ふくもと整形外科・内科クリニック	32-4145	医療機関名	電話 (0996)
花半禮病院	32-3281	眼科		みなと病院	36-2126
牧野医院	35-0017	医療機関名	電話 (0996)	脳神経外科 (医師会立病院)	
松尾医院	32-5155	勝目眼科	32-2237	医療機関名	電話 (0996)
丸田病院	32-2263	耳鼻咽喉科		いちき串木野市医師会立脳神経外科センター	32-9999
宮之原循環器内科	32-3241	医療機関名	電話 (0996)		
小児科		いとろ耳鼻咽喉科	33-3387		
医療機関名	電話 (0996)	しもむぎ耳鼻咽喉科	29-3384		
くしきの宮崎小児科	32-1166				

今年、北日本の大雪で始まり、竜巻、酷暑、大雨、台風と日本中異常気象の年でした。いちき串木野市医師会と脳外科センターにおいては、2月の開院25周年記念事業に始まり、訪問看護サービス開設、さくらネット事業や在宅医療支援事業など地域へ根ざした取り組みにチャレンジする年になりました。そのなかで皆様方への情報発信源となるこの広報誌が創刊できたことは非常に喜ばしいことです。創刊に寄せて野邊医師会長と下鶴副院長からお言葉をいただき、伊東先生からタバコの実害について分かりやすい解説をいただきました。医師会員の病院紹介に訪問看護ステーションさくらやさくらネットの紹介など多彩な内容になっていきます。今後も皆様方の役に立ち、気楽に読める内容にしていきます。読んでおられますので、ご支援のほどよろしくお願いたします。

(文責 寺田)